

オフライン環境の.NET Framework 3.5 SP1 の インストール方法

はじめに

TKC システムの動作環境には、.NET Framework 3.5SP1 がインストールされている必要があります。(以降 DFW35 と略します。)

DFW35 は、Windows8.1 以降で規定のインストールでは有効化(インストール)されていません。

また、標準設定でインストールされた Windows には、.NET Framework 3.5 を有効化するためのソースとなるファイルが存在しておりませんので、インターネット上かインストールメディアから DFW35 をインストールする必要があります。

Windows Update に直接繋がる環境であれば、コントロールパネルの下記操作(※)で DFW35 を簡単に有効化する事が出来ます。

※Windows のバージョンを問いません。

【ご参考】 オンライン環境下での DFW35 の有効化

下記のマイクロソフトのサイトの「コントロール パネルで .NET Framework 3.5 を有効にする」をご参照ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/dotnet-35-windows-10>

上記方法で有効化できない場合は、オフライン環境で有効化を行っていただく必要があります。

当手順書では、オフライン環境での DFW35 の有効化の方法を 2 つ説明します。

1 つ目は、Windows イメージからインストールする方法で、2 つ目はシステムの I S O (DVD) からインストールする方法です。

初めに、下記 I の Windows イメージからのインストールを行ってください。

うまくインストールできない場合は、引き続き下記 II のシステム I S O (DVD) からのインストールを行ってください。

※下記 I は Windows11/10 専用の方法のため、Windows8/8.1 をご利用の場合は、

下記 II の方法を行ってください。(下記 II の方法は Windows のバージョンに依らず実行可能なため、Windows11/10 でも行っていただけます。)

目次

I Windows イメージから DFW35 をインストールする方法

(Windows11/10 専用)	1
1. Windows11/10 用の I S O イメージファイルのダウンロード・作成	1
(1) Windows11 の場合	1
(2) Windows10 の場合	2
2. DFW35 のインストール.....	5
3. DFW35 のインストール確認	9

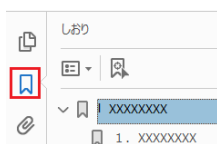
II システムの I S O (DVD) より DFW35 をインストールする方法

1. システムの I S O イメージファイルの取得	11
2. DFW35 のインストール	13
3. DFW35 のインストール確認	14

【ご参考】PDF のナビゲーション(しおり)の表示方法

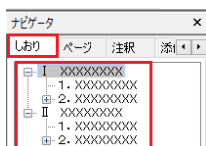
1. Acrobat Reader の場合

- (1) F4 キーを押下して「ナビゲーションパネル」を表示します。
- (2) 「しおり」ボタン(下記赤枠)をクリックし、しおりを表示します。
(※) しおりが設定されていない場合、「しおり」ボタンは表示されません。



2. Sky PDF Viewer の場合

- (1) メニューの「表示(V)」>「ナビゲーター(N)」をクリックします。
- (2) 「しおり」タブを選択します。
(※) しおりが設定されていない場合、「しおり」タブには何も表示されません。



1 Windows イメージから DFW35 をインストールする方法 (Windows11/10 専用)

1. Windows ISO イメージファイルの作成

(1) Windows11 用

- ① 以下のMicrosoft 社のサイトにアクセスします。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows11>

- ② [ダウンロードを選択]欄で「Windows11(multi-edition ISO)」を選択し、[ダウンロード]ボタンをクリックします。

[製品の言語の選択]欄が表示されるので、「日本語」を選択し、[確認]ボタンをクリックします。

Windows 11 ディスク イメージ (ISO) をダウンロードする

このオプションは、ブート可能なインストール メディア (USB フラッシュ ドライブ、DVD) を作成するか、仮想マシン (.ISO ファイル) を作成して Windows 11 をインストールするユーザー向けです。このダウンロードは、プロダクト キーを使用して正しいエディションのロックを解除するマルチエディションの ISO です。

Windows 11 (multi-edition ISO)

+ 作業を開始する準備

ダウンロード

製品の言語の選択

Windows をインストールするときに同じ言語を選ぶ必要があります。現在使っている言語を確認するには、[PC 設定] の【時刻と言語】またはコントロール パネルの【地域】にアクセスします。

日本語

確認

- ③ [64-bit ダウンロード]ボタンをクリックし、「Win11_Japanese_x64v1.iso」がダウンロードされるので、[名前を付けて保存]ボタンからデスクトップなど任意の場所に保存してください。※5GB 程度の非常に大きなファイルとなります。

のダウンロードは、プロダクト キーを使用して正しいエディションのダウンロード

Windows 11 (multi-edition ISO)

+ 作業を開始する準備

ダウンロード

ダウンロード

Windows 11 日本語

64-bit ダウンロード

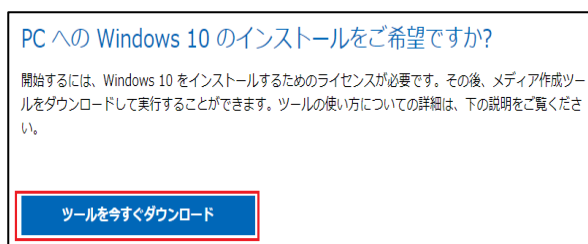
+ ダウンロードを確認

Win11_Japanese_x64v1.iso で行う操作を選んでく...
開く 名前を付けて...
MediaCreationTool21H2.exe で行う操作を選んでく...
開く 名前を付けて...
もっと見る

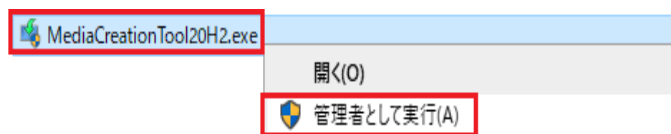
(2) Windows10 用

- ① 以下のMicrosoft 社のサイトにアクセスします。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10>
- ② [ツールを今すぐダウンロード] ボタンをクリックし、デスクトップなど任意の場所に「MediaCreationTool21H2.exe」をダウンロードします。

※ 「MdeiaCreatonToolYYHX.exe」の赤字箇所は、最新の機能アップデート (大型アップデート) の版数となります。



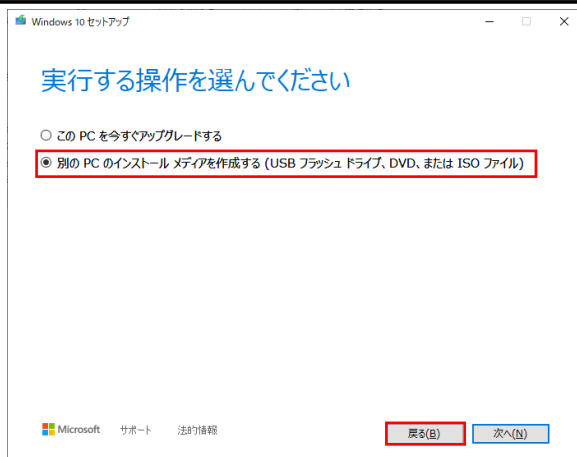
- ③ 「MediaCreationTool21H2.exe」を右クリックし、[管理者として実行] をクリックして実行します。



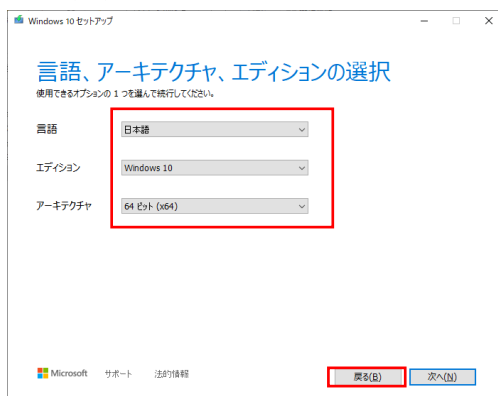
- ④ ライセンス条項で[同意する] ボタンをクリックします。



- ⑤ [別の PC のインストールメディアを作成する (USB フラッシュドライブ、DVD、または ISO ファイル)] にチェックを付けて [次へ] ボタンをクリックします。

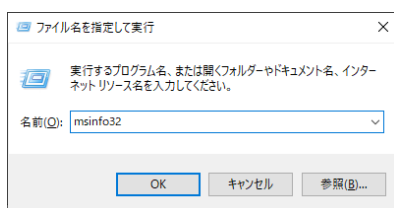


- ⑥ 下記の設定を行い、「次へ」ボタンをクリックします。
言語「日本語」、エディション「Windows10」、アーキテクチャ「ご利用の P C のビット(※)」を設定します。



(※) ご利用の P C のビットは下記の方法で確認します。

- 1) 「Windows キー + r」で[ファイル名を指定して実行]画面を表示します。
※ Windows キーは、キーボード左下の Windows のロゴマークのキーです。
- 2) [名前]欄に「msinfo32」と入力し OK をクリックします。(「」は入力不要です。)

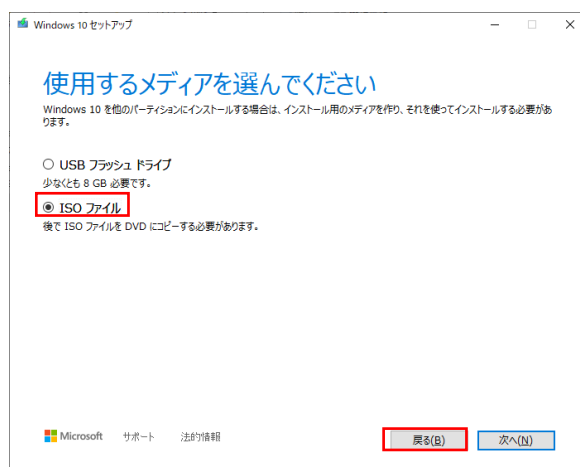


- 3) [システム情報]画面の[システムの種類]欄の値を確認します。

※x64 :64 ビット / x86 :32 ビット

システム情報		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)		
システムの要約	項目	値
ハードウェアリソース	OS 名	Microsoft Windows 10 Enterprise
コンポーネント	バージョン	10.0.18363 ビルド 18363
ソフトウェア環境	OS の他の説明	利用不可
	OS 製造元	Microsoft Corporation
	システム名	CS04665Y17-2
	システム製造元	TOSHIBA
	システムモデル	EQUIUM 4060
	システムの種類	x64-ベース PC

- ⑦ 使用するメディアは「ISOファイル」を選択して[次へ]をクリックします。
 ※ ISOイメージファイルの保存先は任意ですが、十分な空きのあるドライブ
 (最低 8GB 以上)に保存してください。

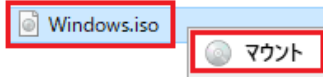


- ⑧ 「ISOファイルをDVDにコピーしてください」が表示されたら、当該画面で
 [完了]ボタンをクリックして閉じます。(DVDへのコピーは不要です。)
- ⑨ 「Windows.iso」が作成されていることを確認します。

名前	更新日時	種類	サイズ
Windows.iso	2021/01/06 18:12	ディスクイメージ ファ...	4,729,216 KB

2. DFW35 のインストール

- (1) 上記1でダウンロード・作成した ISO ファイルを右クリックして[マウント]を選択します。

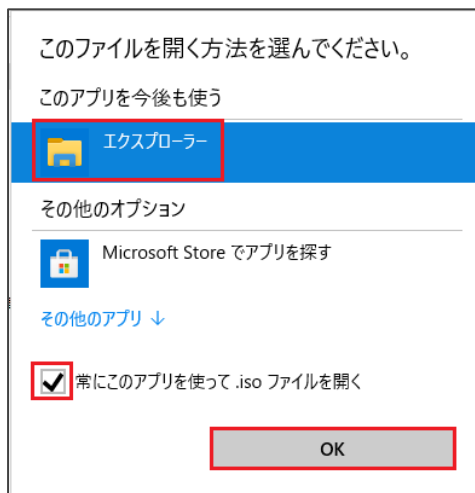


※上のイメージは、Windows10 の ISO イメージファイルの例です。

【ご参考】 エクスプローラーで[マウント]メニューが表示されない場合

- ① ISO イメージファイルを右クリックし、[プログラムから開く]をクリックします。
- ② 「このアプリを今後も使う」で「エクスプローラー」を選択し、[常にこのアプリを使って.iso ファイルを開く]にチェックをつけてOKをクリックします。

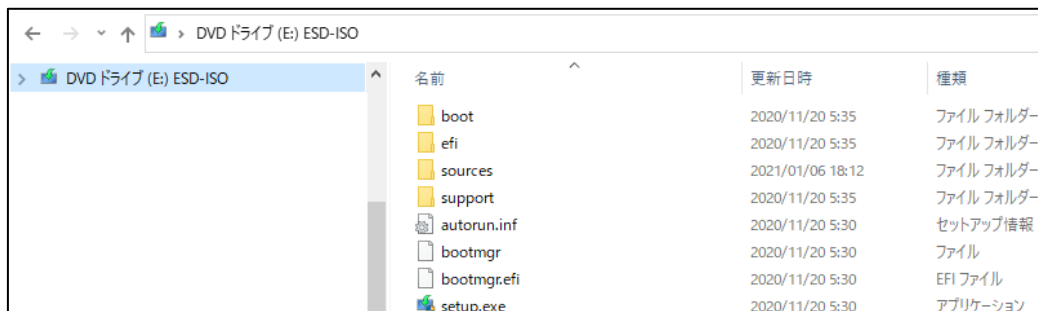
※「エクスプローラー」が見つからない場合は、「その他のアプリ」のリンクをクリックして、一覧から探します。



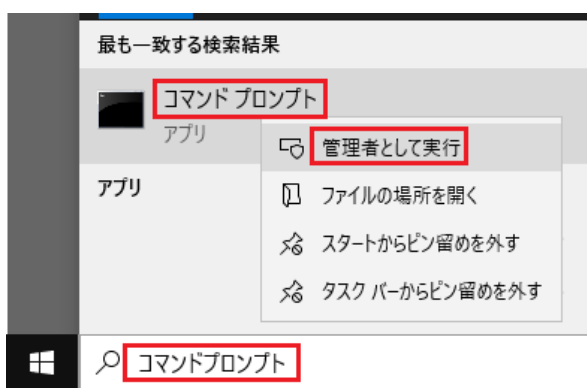
- ③ ISO イメージファイルを右クリックし、[マウント]が表示されることを確認します。

- (2) マウントされた ISO イメージファイルがどの仮想ドライブに割り当てられたか確認します。

(下記例では E ドライブ)



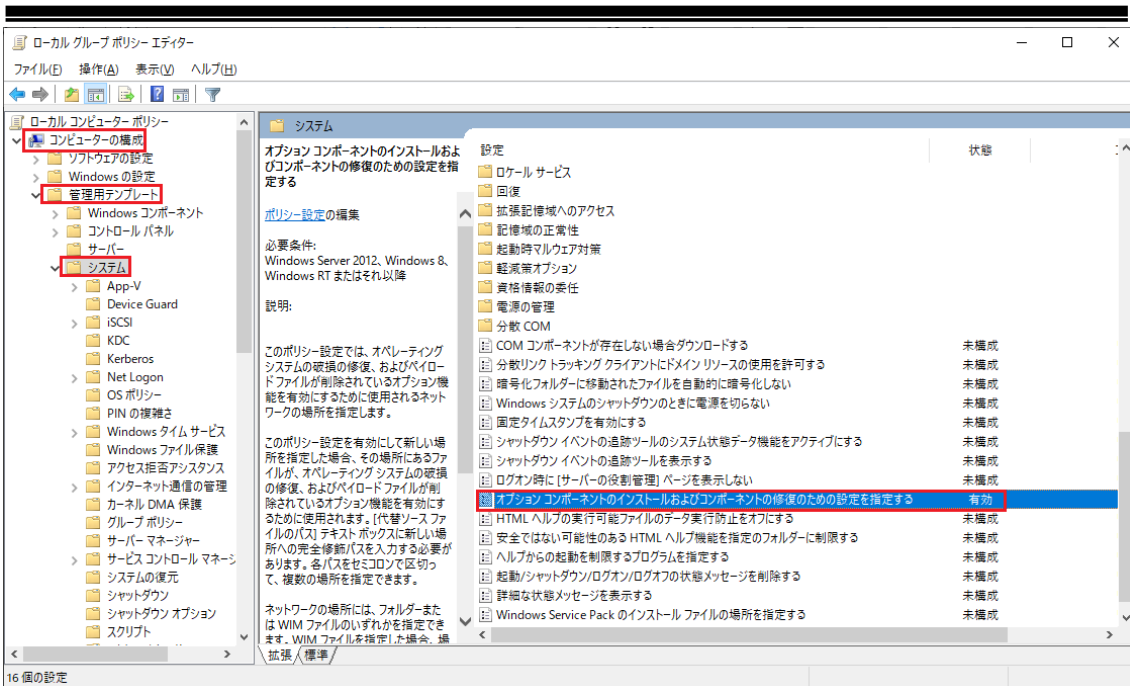
- (3) 検索窓に「コマンドプロンプト」と入力し、検索結果の「コマンドプロンプト」(アプリ)を右クリックから[管理者として実行]より実行します。



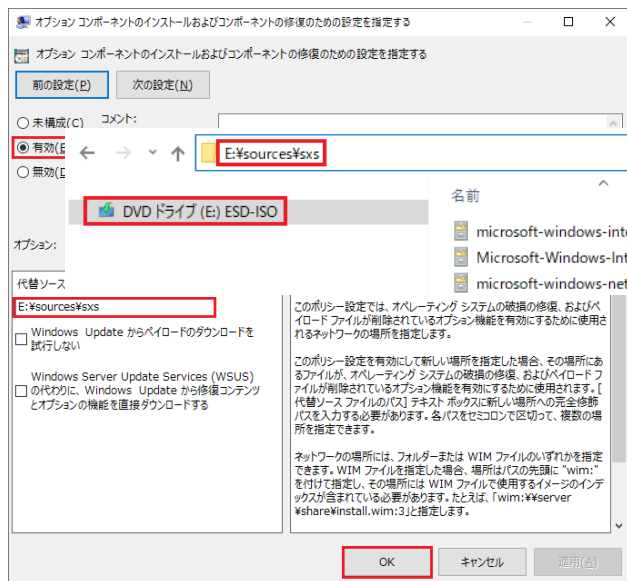
- (4) コマンドプロンプトで「gpedit.msc」を入力しエンターキーを押します。
(「」は入力不要です。)



- (5) [ローカルグループポリシーエディター]画面が開いたら以下を選択します。
コンピュータの構成>管理用テンプレート>システム>[オプションコンポーネントのインストールおよびコンポーネントの修復のための設定を指定する]をダブルクリックします。



(6) [有効] にチェック後、[代替ソースのファイルパス] に、上記 2. (2) で確認した ISO イメージファイルのパス(\$:¥sources¥sxs)を入力し[OK]ボタンをクリックします。



※ 上記 2. (2) の例では「E:¥sources¥sxs」となります。

(7) コマンドプロンプトで「gpupdate /force」を入力しエンターキーをクリックします。
 (「」は入力不要です)

※ gpupdate の後には、半角空白が入ります。

```
C:\WINDOWS\system32>gpupdate /force
ポリシーを最新の情報に更新しています...

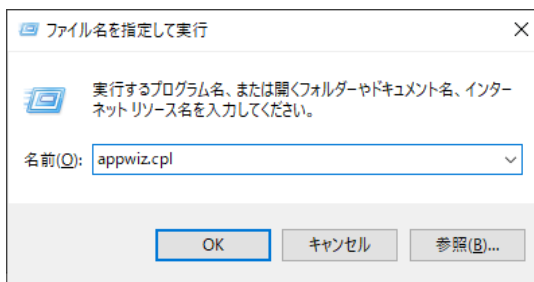
コンピューター ポリシーの更新が正常に完了しました。
ユーザー ポリシーの更新が正常に完了しました。

C:\WINDOWS\system32>
```

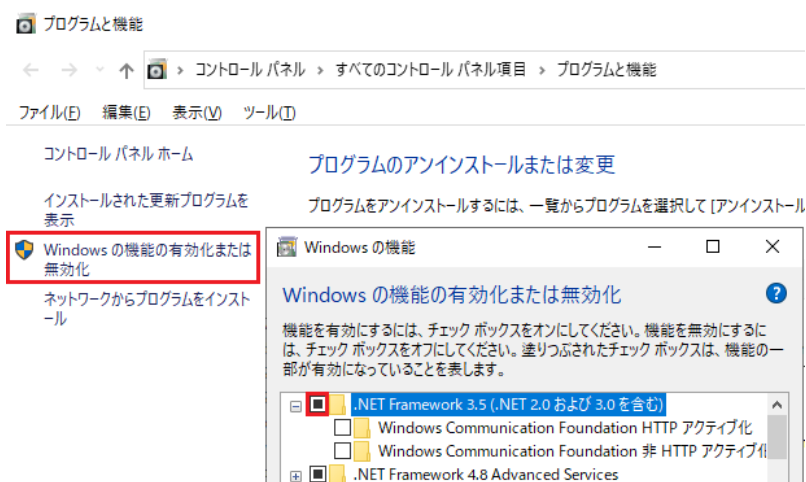
正常に完了した旨のメッセージが表示されたら、画面右上の[×]ボタンよりコマンドプロンプトを閉じます。

(8) DFW35 が有効化できるか確認します。

- ① 「Windows キー + r」で[ファイル名を指定して実行]画面を表示します。
※ Windows キーは、キーボード左下の Windows のロゴマークのキーです。
- ② 名前欄に「appwiz.cpl」と入力しOKをクリックします。
(「r」は入力不要です。)



- ④ 「Windows の機能の有効化または無効化」のリンクをクリックし、[Windows の機能]画面を表示します。
- ④ [.NET Framework 3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)]にチェックをつけて有効化します。



3. DFW35 のインストール確認

(1)レジストリエディタを管理者として起動します。

スタートボタン横の検索窓に「レジストリ」と入力し、表示される検索結果から [レジストリエディター]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

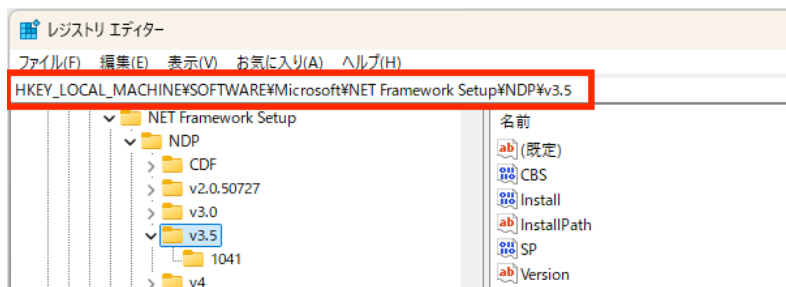
ユーザアカウント制御の画面が表示される場合は、[はい]ボタンで進みます。また、管理者権限のあるユーザIDやパスワードを求められる場合は、入力します。



(2) レジストリエディターでレジストリを確認します。

①レジストリエディターの赤枠の欄（以下の画像参照）に、以下のキーの値をコピーして貼り付け、Enter キーを押下します。

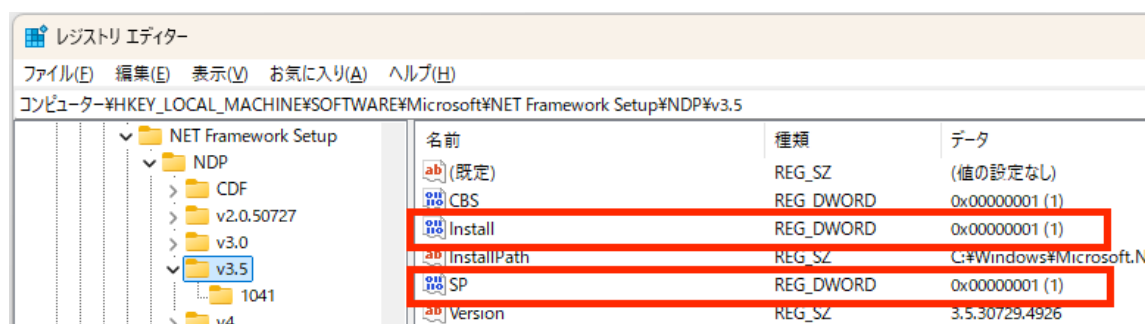
キー：HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥NET Framework Setup¥NDP¥v3.5



②表示されたキーに、対象の2つの項目名の値が登録（以下の画像参照）されていることを確認します。

項目名(名前) : install
型(種類) : REG_DWORD
値(データ) : 1

項目名(名前) : SP
型(種類) : REG_DWORD
値(データ) : 1



(3) 上記(2)②の値が登録されている場合は、DFW35 のインストールが完了しています。
上記1でダウンロード・作成した ISO イメージファイルは不要なため削除してください。
上記ご対応で値が登録されていない場合（DFW35 がインストールできない場合）は、
下記IIの方法をお試しください。

【ご参考】 NET Framework 3.5 インストール時のエラー 0x800F0906、0x800F081F、
0x800F0907、0x800F0922

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/windows-client/application-management/dotnet-framework-35-installation-error>

II システムのISO (DVD) より DFW35 をインストールする方法

※TKCシステムで利用する.NET Framework3.5 SP1 はシステム共通となります。

下記は e-TAX グループ通算、ASP1000R の ISO を利用した DFW35 のインストール方法ですが、ご利用のシステムが e-TAX 消費税や eTaxEffect など他の TKC システムの場合でも、下記の方法で共通にご対応いただけます。

1. システムのISOの取得

※システムのDVD (年度や版数は問いません) をお持ちの場合、以下の ISO イメージファイルを利用する代わりに、DVD をご利用いただくことも可能です。

※システムDVD を利用する場合は、下記「[2. DFW35 のインストール](#)」より作業を行ってください。

※eTaxEffect など ISO イメージファイルのないシステムの場合は、代わりに e-TAX グループ通算や ASP1000R など任意のシステムの ISO イメージファイルをご利用ください。

(1) 以下のURL にアクセスいただき、オンライン Q&A のページの「こちら」のリンクより ISO イメージファイルのインストール手順書の PDF をダウンロードします。

※以下のどの ISO イメージファイルを使用しても、.NET Framework 3.5 SP1 のインストールが可能です。

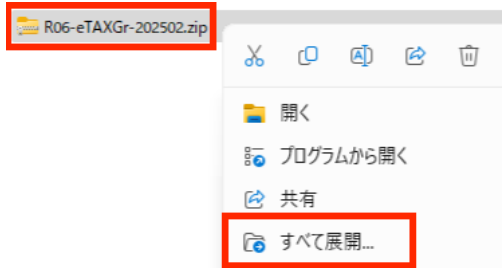
① e-TAX グループ通算の ISO イメージファイル

https://www.prft.tkc.co.jp/SystemqaCPNYFree/Main/QaItem.aspx?system_id=301&category_id=2314&item_id=0101287

② ASP1000R の ISO イメージファイル

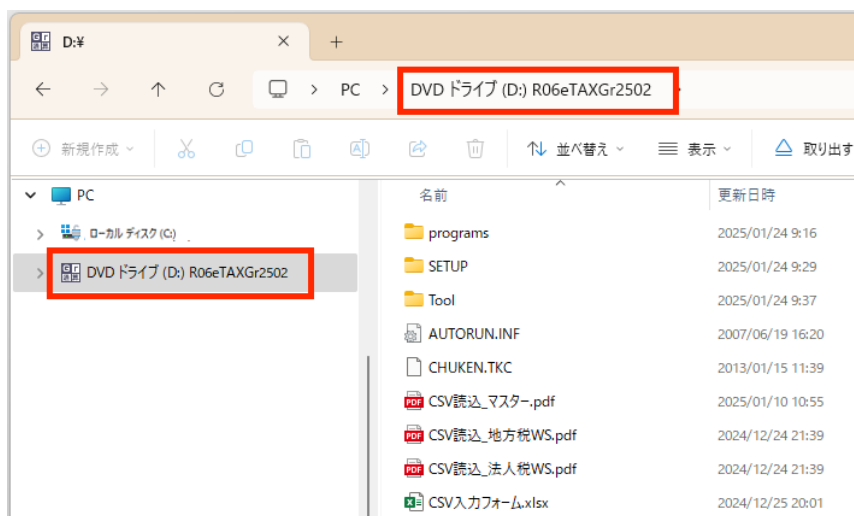
https://www.prft.tkc.co.jp/SystemqaCPNYFree/Main/QaItem.aspx?system_id=278&category_id=2147&item_id=0095587&search=true&query=ISO

(2) 手順書に従って、ISO イメージファイルのお申込み、ダウンロード、ダウンロードした zip ファイルの展開、及び ISO のマウントまで行ってください。



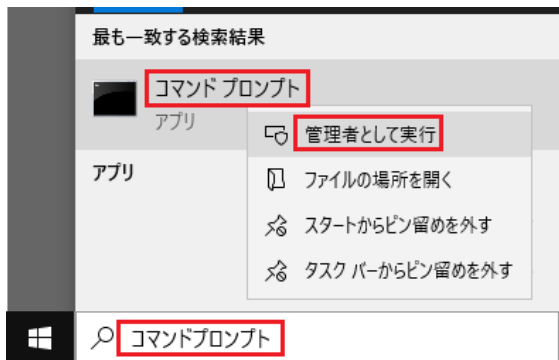
- (3) マウントされた ISO ファイルがどの仮想ドライブに割り当てられたか確認します。
(下記例では D ドライブ)

※以下は e-TAX グループ通算の ISO イメージファイルを使用した例です。



2. DFW35 のインストール

- (1) 検索窓に「コマンドプロンプト」と入力し、検索結果の「コマンドプロンプト」(アプリ)を右クリックから「管理者として実行」より実行します。



- (2) コマンドプロンプトに、下記のコマンドを入力し、Enter キーを押下します。
(「」はご入力不要です。)

「?:¥programs¥WIN¥FW35SP¥DOTNETVer2.exe 3.5.30729」

※「？」は上記 II 1. (3)で ISO イメージファイルをマウントした、仮想ドライブの
ドライブレターに置き換えてください。(例) E など

また、DVDを利用する場合は、「？」はDVDドライブのドライブレターに
置き換えてください。(例) D など

※exe の後は半角空白が入ります。

```
管理: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.18363.1256]
(c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:¥WINDOWS¥system32>E:¥programs¥WIN¥FW35SP¥DOTNETVer2.exe 3.5.30729
C:¥WINDOWS¥system32>_
```

(ご注意)

上記コマンドを実行しても、コマンドプロンプトの画面は上記のように表示された
ままで何も変化がないように見えますが、DFW35 のインストールは行われている状態
です。(DVD をご利用の場合は、DVD ドライブの動作音がします。)

インストール作業中やインストール終了時に何もメッセージは表示されないため、
PC(OS)は終了せずに、15分程度そのままお待ちください。

※インストールを待つ間は、コマンドプロンプトを閉じていただき、他の作業を
していただいて大丈夫です。

3. DFW35 のインストール確認

(1)レジストリエディタを管理者として起動します。

スタートボタン横の検索窓に「レジストリ」と入力し、表示される検索結果から [レジストリエディター]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

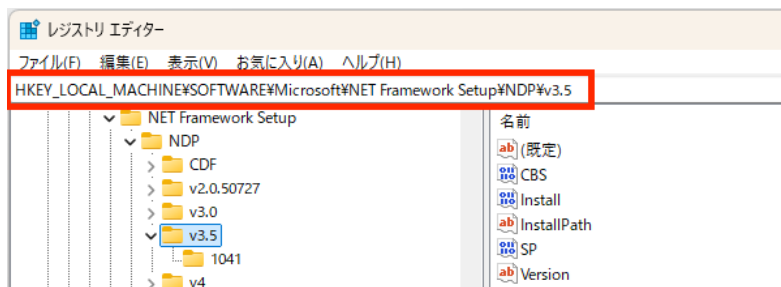
ユーザアカウント制御の画面が表示される場合は、[はい]ボタンで進みます。また、管理者権限のあるユーザIDやパスワードを求められる場合は、入力します。



(2) レジストリエディターでレジストリを確認します。

①レジストリエディターの赤枠の欄（以下の画像参照）に、以下のキーの値をコピーして貼り付け、Enter キーを押下します。

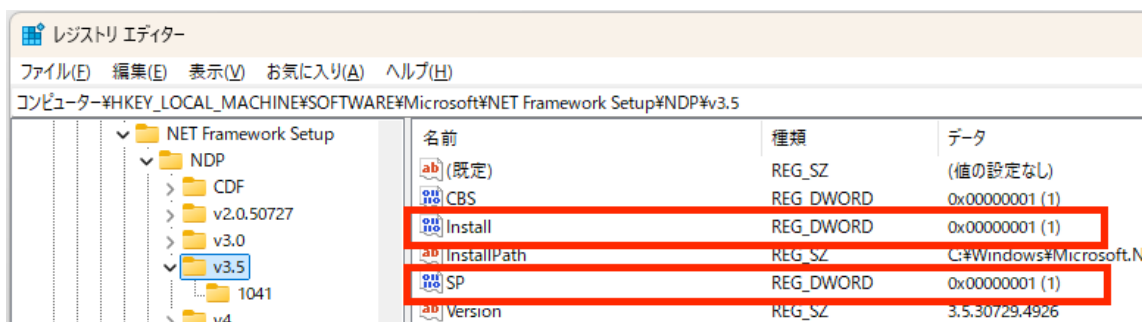
キー：HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥NET Framework Setup¥NDP¥v3.5



②表示されたキーに、対象の2つの項目名の値が登録（以下の画像参照）されていることを確認します。

項目名(名前) : install
型(種類) : REG_DWORD
値(データ) : 1

項目名(名前) : SP
型(種類) : REG_DWORD
値(データ) : 1



(3)上記(2)②の値が登録されている場合は、DFW35 のインストールが完了しています。
ダウンロードいただいた上記 II 1. (2)の ISO イメージファイルは不要なため削除してください。

以上